



データ シート

ラッカス SPoT™ Smart Positioning Technology

SPoT の用途：

小売

マーケティング、マーチャンダイジング施策効果分析、買い物客傾向分析、顧客エンゲージメント向上

ホテル、サービス業

顧客の満足度向上を狙いとした、自動チェックイン、経路案内、アメニティ即時プロモーションなどのデバイス機能

輸送業界

ハブを使用してリアルタイム ヒート マップ、客数および滞留時間の統計データを活用し、施設全体またはサブゾーンの効率を高めて旅行者体験を向上

医療

正確な位置情報データによる、資産追跡、屋内ナビゲーション、スタッフおよび患者の位置確認

教育

タブレット、ラップトップ、スマートフォンなどの資産を管理し、位置情報に基づいた自動授業出席確認によって学生の体験を向上

業界最高の柔軟性を誇る Smart WiFi 位置情報サービス

ラッカススマートポジショニング技術 (SPoT™) には、公共のクラウドベースサービスやローカルでホストされる VM など、独自の高度な機能が組み合わされています。また、ビジネス ニーズに最適な位置情報メトリクスを選択できます。企業やマネージド サービス プロバイダーは、SPoT API を使用して位置情報データをアプリケーションに取り込み活用することができます。パートナーの強力なエコシステムにより、小売、輸送、教育、その他の市場で SPoT を一層活用できます。

SPoT には 2 段階のサービスが用意されています。

- **SPoT Point** は、ドロップピン分析によって、80% の信頼度、5 ~ 10 メートルの精度で顧客の位置をリアルタイムに特定可能です。SPoT Point は高密度の導入に適しています。SPoT Presence サービスでは、少ないアクセスポイントで、フットフォール分析とデバイス位置情報を近接値で提供します。
- **SPoT Presence** は、近接分析を使用し、至近アクセスポイント周辺にあるデバイスの全体的な数を検出します。SPoT Presence は位置情報分析を可能にする費用効果の高いソリューションであり、少ないアクセスポイントで小規模な施設をカバーするのに最適です。

どちらのバージョンの SPoT にもエンゲージメント API のセットが含まれており、ラッカス エコシステム パートナーはこれを使用して新世代のモバイルアプリケーションやロケーション インテリジェントな機能を開発できます。企業はこうした連携するソリューションを使用して WiFi クライアントの位置を特定し、ターゲットとしている情報を送信し、マーケティングの効果を分析できます。

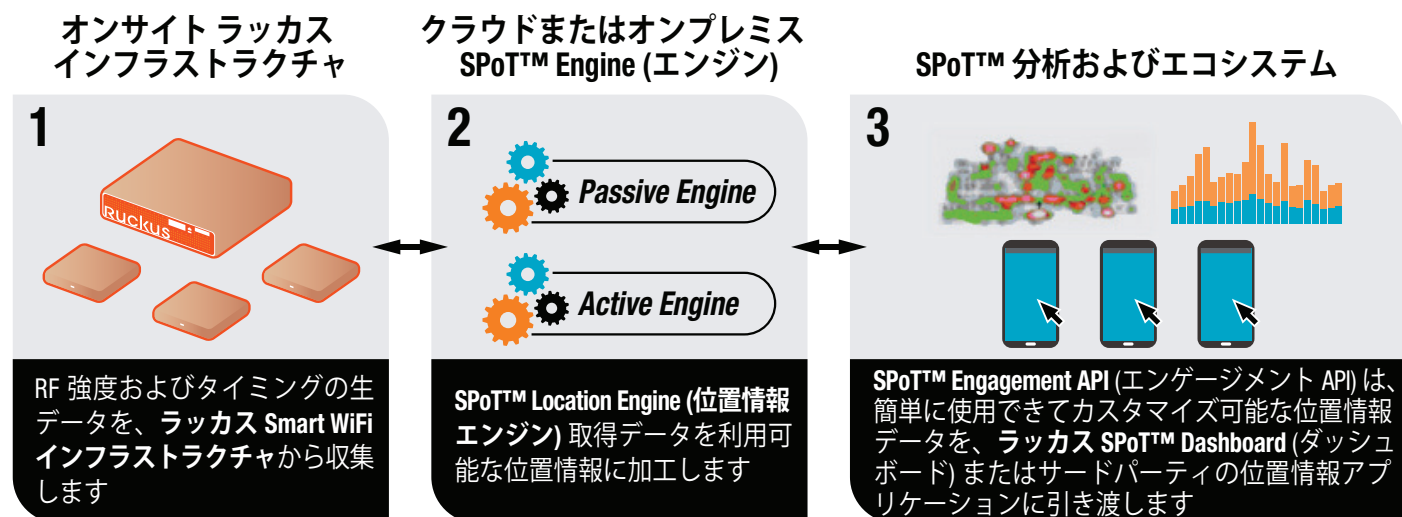
ラッカス SPoT™ は、クラウドベースのサブスクリプションサービスとして、もしくは継続的な費用の発生しない仮想インスタンスである Virtual SPoT をオンプレミスで導入することが可能です。Virtual SPoT は VMWare ESXi 上で動作し、企業またはマネージド サービス プロバイダーのデータセンターから Point または Presence 位置情報機能を提供します。

ラッカス SPoT™

Smart Positioning Technology

仕組み

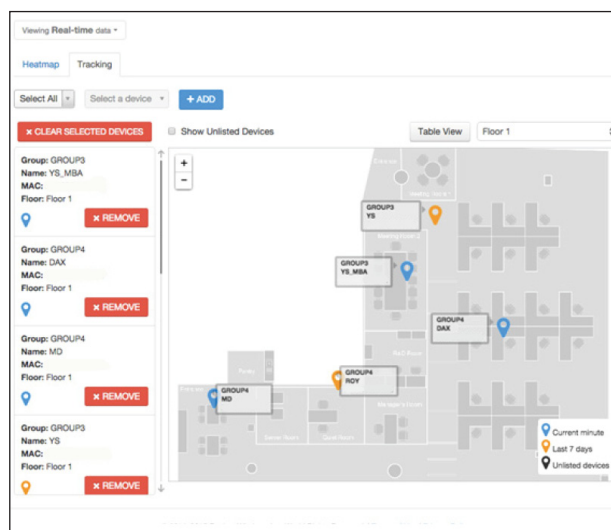
ラッカス SPoT では RF フィンガープリンティングを使用しているため、使用するアクセスポイントの数と設置密度条件下で、デバイスの位置をより正確に特定できます。



SPoT の特徴

- スケールと拡張性
- デバイス位置特定を無制限に拡大
 - 真のクラウドアーキテクチャにより、導入の大規模なスケーリングが可能
- リアルタイム位置特定
 - 更新間隔を動的に選択し、最小で秒単位での位置情報を取得
- プローブとデータパケットの活用により、位置特定精度が向上
- 関連付けられているかどうかにかかわらず WiFi デバイスを検出
- 複数の施設を 1 つのダッシュボードに表示
- 導入が簡単
 - ビルトイン マッピング、オンサイトプロビジョニングとテスト用のモバイルアプリ、必要最小限のコントローラー構成
- SPoT Tracker
 - WiFi 資産の位置を素早く発見
 - WiFi 資産の既知の最終位置を過去 7 日まで遡って表示
 - 未知の WiFi デバイスの位置を表示

- 自分専用マップ作成 (CYOM)
 - シンプルなマッピングツールでフロアプランを作成、編集
- MAC アドレスの除外
 - 位置情報分析から常駐 WiFi デバイスを除外



ラッカス SPoT™

Smart Positioning Technology

機能および対応プラットフォーム

機能および対応プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> すべての ZoneDirector および SmartZone プラットフォーム (SZ100、SCG200、vSZ) すべての ZoneFlex 802.11n/ac AP に対応 対応 OS :ZoneDirector 9.8 または SmartZone 3.0
SPoT Location Engine (クラウドベース)	<ul style="list-style-type: none"> クラウドで提供されるサービス 拡張可能なクラウドで無制限の場所とクライアント デバイスに対応 ZD/AP にダウンリンクするセキュアな接続性 ノースバウンドおよびサウスバウンドのエコシステム ソリューションとの連携のための RESTful API 対応 クライアント RSSI および施設 RF フィンガープリンティングによって精度が向上 エンジン アルゴリズムの継続的な強化により、正確性と効率性が向上
SPoT Point	<ul style="list-style-type: none"> 信頼度 80% で 5 ~ 10 メートルの精度
SPoT Presence	<ul style="list-style-type: none"> 至近アクセス ポイント周辺のクライアントを表示ヒートマップはアクセスポイントの周辺をカラー スポットで表示
Virtual SPoT	<ul style="list-style-type: none"> VMWare Vsphere バージョン 5.x 以降 Virtual SPoT はユーザーのハードウェアに依存 1 つの Virtual SPoT インスタンスで複数の施設に対応 コントローラーと AP 間のダウンリンクに対するセキュアな接続性 ノースバウンドおよびサウスバウンドのエコシステム ソリューションとの連携のための RESTful API 対応 ユーザーは SPoT Point と Presence から選択可能
分析機能	<ul style="list-style-type: none"> ヒートマップによる、ゾーン、フロア、場所ごとの客流の可視化 Presence では最高 30 日分、Point では最高 90 日分のデータを時間、日、週、月ごとに表示 リアルタイム ヒートマップ (分刻み、自動更新) および合計フットフォール数 リアルタイム WiFi 位置情報追跡 リピーター数、または新規数 リピーター数分布 平均滞留時間および分布
対応 API	<ul style="list-style-type: none"> 施設、ゾーン、フロア WiFi クライアント位置情報、タイムスタンプ、クライアント MAC アドレス、ゾーン情報、イン/アウト SPoT ダッシュボードにあるすべての分析レポート用の API
施設のマッピング	<ul style="list-style-type: none"> マップは任意のマップ画像 (jpg、jpeg、png 形式) を使用して作成可能 Create Your Own Maps 機能により、マップを簡単に作成して更新。可能数分でマップを作成
施設のキャリブレーション	<ul style="list-style-type: none"> 導入時にだけ必要なキャリブレーションによって位置情報エンジンをトレーニングし、位置情報計算の正確性を向上。オプションの処理は、Android および iOS デバイス用の無料ラッカス SPoT モバイル アプリで実行
セキュリティとプライバシー	<ul style="list-style-type: none"> すべてのデータをエンドツーエンドで暗号化: コントローラー /AP と SPoT Engine (ポジショニング エンジン) 間、SPoT Engine と分析 / モバイル アプリ API 間。 PII データ (MAC アドレス) のハッシュ オプション。 クラウド サービス 世界最先端の IAAS ベンダーがホストするクラウド サービス。 世界中で利用できるデータ センター